



2025年3月期第3四半期 決算説明資料

特種東海製紙株式会社(プライム3708)

連結業績(前年同期比)

(単位:百万円)	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	前年同期比	
売上高	64,908	71,251	+6,343	+9.8%
営業利益	1,612	2,876	+1,264	+78.4%
経常利益	4,713	4,822	+109	+2.3%
親会社株主に帰属する 中間純利益	3,649	3,700	+51	+1.4%

売上高

- 特殊素材・生活商品における価格改定効果、および環境関連の拡大により通期予想に対して順調に推移

営業利益

- 2Qに続き環境関連の売上増加による増益、特殊紙やトイレトペーパーの価格改定等が発現

経常利益

- 持分法投資利益が前年比で減少

第3四半期 実績	進捗率	2024年5月発表 業績予想
売上高 71,251 百万円	 75.0 %	95,000 百万円
営業利益 2,876 百万円	 71.9 %	4,000 百万円
経常利益 4,822 百万円	 77.8 %	6,200 百万円

セグメント情報(前年同期比)

(単位:百万円)		2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	前年同期比	
産業素材	売上高	32,095	33,688	+1,593	+5.0%
	営業利益	824	677	▲147	▲17.8%
特殊素材	売上高	15,279	15,991	+712	+4.7%
	営業利益	139	1,163	+1,024	+734.7%

産業素材

- 2Qに続き、段ボール原紙・クラフト紙ともに販売数量は前年同期を下回ったが、資材価格の高騰で原価が上昇、NTIへの販売価格も上昇したことで売上高自体は前年比で増加
- 2Qにおける設備トラブルにより約1.5か月電力販売がストップしたことで売電事業における売上・利益が前年比で減少。ただし、10～12月は好調。

特殊素材

- 特殊印刷用紙の国内需要は引き続き減少しているが、特殊機能紙の数量は回復
- 価格改定効果が2Q比で大きくなったことに加え、固定費などその他複合的な要因により増益

セグメント情報(前年同期比)

(単位:百万円)		2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	前年同期比	
生活商品	売上高	13,909	14,353	+444	+3.2%
	営業利益	523	547	+24	+4.7%
環境関連	売上高	8,637	12,514	+3,877	+44.9%
	営業利益	199	378	+179	+89.5%

生活商品

- 2Qに続き価格改定効果が発現したトイレトーパーに加え、ペーパータオル、ラミネート製品いずれも販売数量が堅調に推移

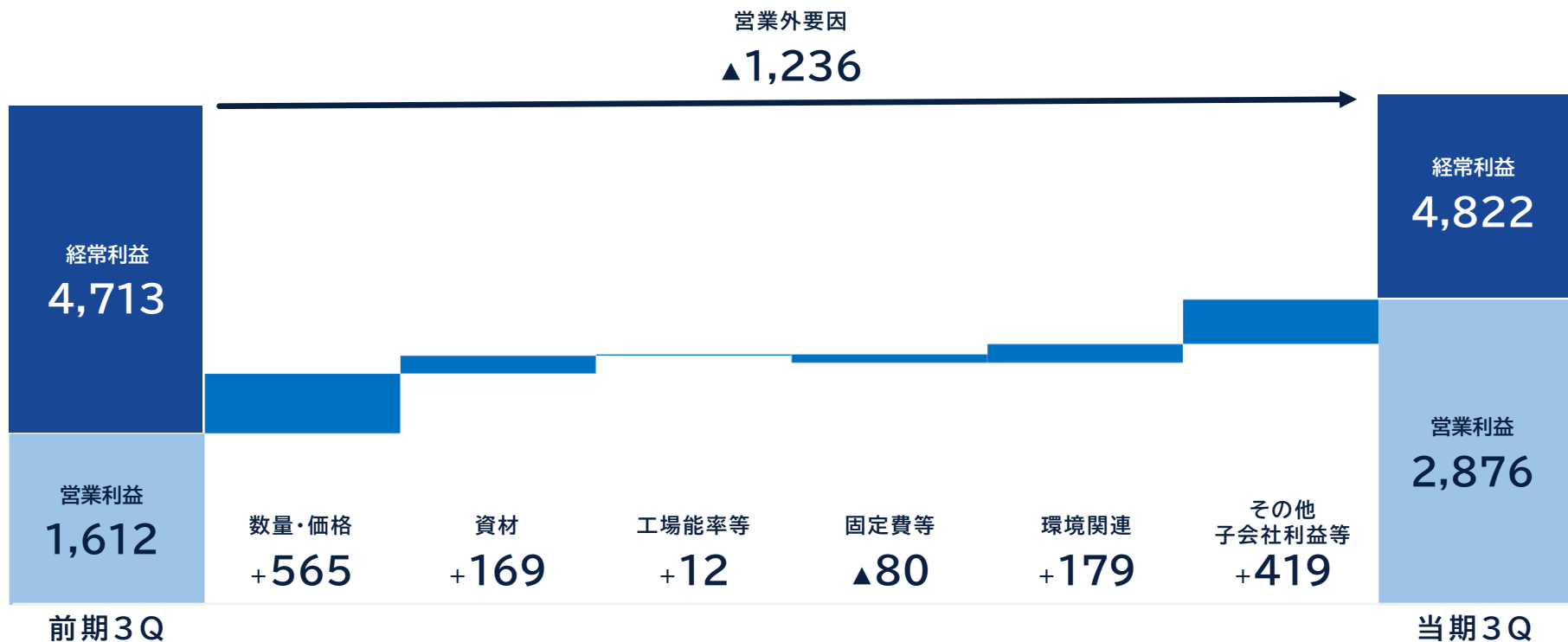
自然環境活用事業

- 2Qに続き土木業が好調
- ウイスキーは売れ行き好調

資源再活用事業

- マテリアルリサイクルを行うトーエイ、RPFの製造を行うレックスが好調
- 当第2四半期からPLを取り込んだ貴藤も堅調に推移

利益の増減要因(前年同期比)



主な要因

- 特殊素材、生活商品の価格改定効果が順調に増加し数量・価格要因で+565
- トーエイの有価物販売やレックスの集荷数量が増加した他、建設事業において工事が順調に進捗したことにより環境関連で+179
- 2Qに比べ原燃料全般の価格が上昇傾向となり資材要因は+169

	2024年3月期 実績	2025年3月期 業績予想	前年同期比	
売上高	86,517	95,000	+8,483	+9.8%
営業利益	2,296	4,000	+1,704	+74.2%
経常利益	6,188	6,200	+12	+0.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,590	4,300	▲290	▲6.3%

売上高・営業利益

- 特殊紙やトイレトペーパーの価格改定効果、及び特殊機能紙における堅調な需要を見込む

経常利益

- 持分法投資利益は前年同期比減を見込むものの営業利益の増加により前年並みを予測



※ 本資料に掲載しております当社の計画および施策などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。
様々なリスクおよび不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がございますことを予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。